

【学年】 2年 【教科・単元など】 算数「長さのたんい」

【実践内容】

○単元目標

長さの比較などの活動を通して、長さの概念や測定、及びその単位についての理解を深める。

○単元の流れ

導入 『長さチャンピオン決定戦！！』

いろいろな長さに切っておいた色テープ。封筒に入れておき、順番に引いていく。4つのテープをつなげてみて、いちばん長かった人がチャンピオン。班の中で誰がチャンピオンなのか調べるために、任意単位による比較をさせていく。

誰が一番なのか知りたい！
早くくらべようよ！！

展開 『クラスのチャンピオンは誰？』

班のチャンピオンは誰か、また、どのくらいの長さだったのか発表をさせ、クラスのチャンピオンを決めようとする。しかし、班ごとに単位にしているものがちがうので比べにくい。共通単位の必要性を感じさせ、「cm」の学習につなげる。

けしゴム7ことえんぴつ2
本って…。どっちの勝ち？

昨日使った鉛
筆、削っちゃっ
たし…

『クラスのチャンピオンは本当に誰？！』

「cm」を習った子どもたちは、チャンピオンを決めるために測るが、はしたの数があり、まだ比べられない。もっとこまかい単位の必要性を感じさせ、「mm」の学習をした。

「1cm」が〇個分だ

10cmとあとちょっとだ
ったよ。ピッタリじゃない。

まとめ 『いろいろなものを測ってみよう！』

ものさしを使ってさまざまなものの長さを測ったり、直線を引いたりした。

【児童の様子と反省】

- ・勝敗を決めるが好きなので、必死になってチャンピオン決めをしていた。はんばな長さを“ちょっと”と表していたが、比較するときに困り、“ちょっと”ってどれくらいなんだよー！」と発言した子がいたとき、みんながうなずいていた。本当に知りたかったことだったと思う。「cm」「mm」という共通単位の必要性を十分に感じさせることができたと思う。
- ・チャンピオンが決まったあとは、必死感がなくなり、意欲が低下。特に直線を引くという部分を、うまく単元の流れにいれることが出来なかったので、単なる作業になっていた。工夫が必要であったと反省している。